日日番号	舞鶴	工業高等	専門学校	目	講年度	平成30年度 (2	2018年度)	授	業科目	アナログ	信号処理	里丁		
155			<u> </u>	171	<u> </u>	11/3/201/32 (2	1010 1/2/		жпа ј.	,, ,,	الم الم			
授業 単位の極別と単位数 記様性位:1 記録的数 2 2 2 2 2 2 2 2 2		LIDTK	0165				科目区分		専門 / 必修					
調節								6位数						
部期 前期 割期 割時間数 2 2 2 2 2 2 2 2 2				 丁学科				-13287		_				
国連目標														
連目標		(N)			(八口本)	식百/								
フーブニス変換とその逆変動が計算できる。 フーブニス変換とその逆変換が計算できる。 フーブリック		<u> </u>	戸年 心久											
レーブリック	L ラプラ 2 伝達関	ラス変換とる 関数を用いた	こシステムの	入出力表	現ができ									
理想的な到達レベルの目安														
中価項目1				理想的	内な到達し		標準的な到達し	ベルの	 3安	未到達し	ベルの目			
加速性	严価項目1			ラプ	ラス変換と		ラプラス変換とその逆変換の定義			ラプラス	変換とその		変換が計算	
学科の到達目標項目との関係 管音・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B) 教育方法等 U 要	平価項目2	!		伝達関数を用いたシステムの入出 伝達関数を用い			いたシステムの入出 伝達関数を用いたシステム			テムの入出				
図書・教育到達度目標(A) 学習・教育到達度目標(B) 教育方法等 フンピュータ技術には、計測・制御信号、音声信号等の信号処理技術も重要である。本授業では、信号の最も、処理手法であるフーリエ級数展開、フーリ工変換、ラブラス変換および連続系システムの解析手法について学 漫楽の進め方・方法	F価項目3	1			フーリエ級数展開およびフーリエ フーリエ級数展開 ながない フーリエ 変換とその逆変				開およびフーリエ フーリエ級数展開およびフー! 換の定義はわかっ 変換とその逆変換が計算できた			ゾフーリコ 算できない		
2 教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B) 教育到達度目標 (B) 教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B) 知理手法であるフーリエ級教展開、フーリ工変換、ラブラス変換および連続系システムの解析手法について学 2 楽の進め方・方法 板書を中心に講義を進めるが、プリント等で課題を課す。 【成績の評価方法・評価基準】到達目標の達成度を基準として、定期試験の成構 (60%) , ソート・レボート (40%) を総合評価する。 (編者) 神田専用のノートを用意すること。 (教育の連絡先) 研究室 A模3階 (A-317) 内線電話 8966 e-mail: ashizawaアットマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。) 登業計画 週 授業内容 週ごとの到達目標 1週 シラバス内容の説明、信号処理の基礎 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる。 2週 ラブラス変換の定義と例 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる。 4週 基本的性質 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる。 4週 基本的性質 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる。 6週 逆ラブラス変換 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる。 7週 線形システムの伝達関数 2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現 8週 定期試験 9週 試験問題の解説、周期2nの関数のフーリエ級数 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 10週 一般の周期関数のフーリエ級数 3 フーリエ級数限開およびフーリエ変換と 11週 複素フーリエ級数 3 フーリエ級数限開およびフーリエ変換と 12週 演習 3 フーリエ級数限開およびフーリエ変換と 13週 フーリエ変換と積分定理 3 フーリエ級数限開およびフーリエ変換と 13週 フーリエ変換と積分定理 3 フーリエ級数限開およびフーリエ変換と 13週 フーリエ変換と構分定理 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 13週 フーリエ変換と開発なびフーリエ変換と 13週 フーリエ変換と開発なびフーリエ変換と 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 13週 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 13週 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 3 フーリエ級数属目なよびフーリエ変換と 3 フーリエ級数属目なよびフーリエ変換と 3 フーリエ級数属目なよびフーリエ変換と 3 フーリエ級数属目なよびフーリエ変換と 3 フーリエ級数属目なよびフーリエ変換と 3 フーリエ級数属目がよびフーリエ変換と 3 フーリエ級数属目が記述を対象を含めます 3 フーリエ級数属目がよび 3 フーリエ級数属目が 3 フーリエ級数属目が 3 フーリエ級数 3 フーリエ級数属目が 3 フーリエ級数 3 フーリエ級数 3 フーリエ級数 3 フーリエ級 3 フーリエ級数 3 フーリエ級数 3 フーリエ級数 3 フーリエ級数 3 フーリエ級数 3 フーリエ級数 3 フーリエ級 3 フーリエ級数 3 フーリエ級数 3 フーリエ級数 3 フーリエ級 3 フー	学科の到	達目標項	目との関	 係			,			•				
フンピュータ技術には、計測・制御信号、音声信号等の信号処理技術も重要である。本授業では、信号の最も、					・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	B)								
フージュータ技術には、計測・制御信号、音声信号等の信号処理技術も重要である。本授業では、信号の最も 処理手法であるフーリエ級数限開、アーリエ変換、ラブラス変換および連続系システムの解析手法について学 機力を呼びに調整を建せるで、プリント等で課題を課す。 【成績の評価方法・評価基準】 到達目標の達成度を基準として、定期試験の成績(60%)、 ノート・レボート(40%)を総合評価する。 (偏考] 科目専用のノートを用意すること。			- · · · · · · · · · · ·	J,,, 1 3 ± 3 X	->- N (1	,								
板書を中心に講義を進めるが、ブリント等で課題を課す。		せて	٦١,١٤٦		;(<u></u> (+ =+)	則,制御信品 辛吉	信号等の信号加ま	11古紀士	 舌亜ブホス	木垣業で	 +	フロナ	与其末的+	
板書を中心に講義を進めるが、ブリント等で課題を課す。	妻			であるフ	ニリエ級	数展開 <u>,</u> フーリエ変	カーテンドゥ 2015 2015 2015 2015 2015 2015 2015 2015	および	連続系シスラ	テムの解析	手法につい	ル ハ て き	学習する。	
到達目標の達成度を基準として、定期試験の成績(60%),	業の進め	 b方・方法												
週 授業内容 週ごとの到達目標	ъ ѫ ≣тъ		研究室 / 内線電話	A棟3階 8966		ークmaizuru-ct.ac	.jp (アットマー	クは@(こ変えること	:。)				
1週 シラバス内容の説明,信号処理の基礎	文美計 世	<u>"</u>	注	拉莱中岛				油ブレ	小刘连口插					
2週 ラプラス変換とフーリエ変換,部分分数展開 1 ラプラス変換とその逆変換が計算できる。 2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現。 2 に対試験 2 に対試験 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4週 フーリエ変換と積分定理 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4週 フーリエ変換と積分定理 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4週 フーリエ変換の性質と公式 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4週 フーリエ変換の性質と公式 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4週 フーリエ変換の性質と公式 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4週 フーリエ変換の性質と公式 4回 2 に対しますに対しますに対しますに対しますに対します。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4回 2 に対しますに対しますに対しますに対しますに対しますに対しますに対しますに対します					-	明 信息加那个甘树	<u> </u>	+		レスの治療	はあれてませて	<u> </u>		
1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる 2 ラブラス変換とその逆変換が計算できる 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる 2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現 2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる 2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現 2 根が計算できる 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 1 の週 一般の周期関数のフーリエ級数 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 3 フーリエ級数展開な 3 フーリエ級数展 3 フーリエ級数 3 フーリエ級						· ·								
1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる 1 ラブラス変換とその逆変換が計算できる 2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現 2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現 2 に達関数を用いたシステムの入出力表現 2 に達関数を用いたシステムの入出力表現 2 に対し 2 に対し 2 に対し 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4 に対し 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4 に対し 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4 に対し 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 5 に対し 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 5 に対し														
1stQ 5週 ラプラス変換の表 1 ラプラス変換とその逆変換が計算できる 6週 逆ラプラス変換 1 ラプラス変換とその逆変換が計算できる 7週 線形システムの伝達関数 2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現 8週 定期試験 9週 試験問題の解説,周期2nの関数のフーリエ級数 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 2 換が計算できる。 10週 一般の周期関数のフーリエ級数 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 2 換が計算できる。 11週 複素フーリエ級数 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 換が計算できる。 12週 演習 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 13週 フーリエ変換と積分定理 換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 13週 フーリエ変換と積分定理 2 換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 14週 フーリエ変換の性質と公式 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 2 換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 3 フーリエ変換と 3 フーリエ変換と 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 4 表述 5 表						我 (二州)								
1 ラブラス変換		1ctO						+						
7週 線形システムの伝達関数 2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現。 2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現。 2 を期試験 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と換が計算できる。 10週 一般の周期関数のフーリエ級数 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と扱が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と扱が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と複が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と		ISIQ												
1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月			6週	<u> </u>	ノング授									
1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月			7週	線形シス	ステムの伝	達関数		2 伝達関数を用いたシステムの入出力表現ができる						
1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月			8调	定期試験				Ť						
10週 一般の周期関数のフーリエ級数 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 換が計算できる。	前期						- リエ級数	3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換とそ 換が計算できる。				とその逆		
2ndQ 12週 演習 換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 換が計算できる。 13週 フーリエ変換と積分定理 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 換が計算できる。 14週 フーリエ変換の性質と公式 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 換が計算できる。 3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換と 換が計算できる。			10週	一般の周	見期関数の	フーリエ級数		3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換とその					とその逆	
2ndQ			11週	 複素フ-	リエ級数			3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換とその 換が計算できる。					とその逆	
13週		2ndQ	12週	演習				3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換とその逆変換が計算できる。						
14週 プーグ工を挟め住員と公式 換が計算できる。			13週	フーリコ	変換と積	分定理		換が計						
						質と公式	と公式 類 数			3 フーリエ級数展開およびフーリエ変換とその逆数換が計算できる。				
10個 計略が同力レナレは														
16週 試験返却とまとめ						± 1 ==-								
デルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 		」火カリキ	1			T					I=v :	- 1		
	類	1.			習内容	学習内容の到達目	標				到達レベ	ジレ	授業週	
門的能力 分野別の専 電気・電子 制御 伝達関数を用いたシステムの入出力表現ができる。 2	門的能力	D専 電気・				システムの入出力表現ができる。				2				
		•	米分野	.,,		1 22.27.37		,,,,,						
		î	- ^	1		1,	Tou			1	Г	<u> </u>		
	Y価割合			124		1 +日 〒 三亚 / エ		1 10	. –	マカ州		$\sim = 1$		
試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計									トノオリオ					
試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計 合評価割合 60 0 0 40 0 100	合評価害	引合 60		0		0	0	40	トノオリオ	0		100		
	総合評価害	引合 60		0		0	0	40	トノオリオ	0		100		

分野横断的能力	ln	ln	0	ln	ln	ln	l n
ノノエデリ央ロハレン月ピノノ	10	10	U	10	10	10	U